

天塩川ものがたり 第3回「松浦武四郎の天塩日誌」

名寄市北国博物館 鈴木邦輝館長 放送日：平成23年6月22日(水) 11:30～30分間

今回の天塩川ものがたりでは、昔天塩川に沿ってこの地を歩いて調査した、北海道の名付け親としても有名な松浦武四郎について、このことにとっても詳しいという名寄市博物館の館長鈴木邦輝さんに、彼の書いた「天塩日誌」の話を中心に伺いました。



左から松浦武四郎が調査を終えて、江戸に戻ってから発刊したという「天塩日誌」。中央は武四郎の膨大な量のメモそのものを活字化したもの。右は武四郎によって作られた河川の地図。

名寄市北国博物館の鈴木邦輝館長は、天塩川ものがたりの取材のために、松浦武四郎にまつわる資料をたくさん用意していただいております。当時発行されたという「天塩日誌」や、アイヌの人に案内してもらいながら仕上げたという小さな川の名前まで詳しくアイヌ語で書かれた地図、武四郎が歩いて書き残した膨大で感じたことがそのまま綴られたメモを活字化した本など、興味深いものばかりでした。

松浦武四郎は冒険家ですが、絵を描いたり、文章にしたり、情報をまとめたり、

本を書いたりとてもマルチな才能をもった優れた人であったことや、武四郎が当時歩いたルートや、そこで見た風景、アイヌの生活を通じて感じたことなど様々なエピソードなどを交えて教えていただきました。

また、北海道という名前を提案するにいたったという経緯では、天塩川流域で聞いた「ここに住む人をカイと呼ぶ」という話から、北海道命名の地とされたそうです。これも武四郎が誠実にアイヌの方と向き合ったことからのエピソード。

「自然が豊かな土地に住んでいることを自覚し、アイヌの人たちが残した知恵と伝承を学びながら、四季を通じた

スローライフが送れるということ知ってほしい」と話す鈴木さん。現代の武四郎に出会えた様な気がしました。



名寄市北国博物館

開館時間

午前9:00～午後5:00

(入館は午後4:30まで)

休館日

月曜日・年末年始

入館料

小中学生以下 無料

高校生以上 200円

団体(10名以上) 100円

お問合せ

教育委員会・北国博物館

〒096-0063

北海道名寄市緑丘222番地

TEL/FAX 01654-3-2575

